



ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～

※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん、お母さん、妊婦さん、おじいさん、おばあさんどなたでも利用できる場所です。気軽にお出かけください。

- ◇通信ピッコロを中旬に発行しています。
図書館・公民館・保健センター・役場・振興事務所などに置いてあります。
- ◇ホームページ
揖斐川町 <https://www.town.ibigawa.lg.jp>
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp>

揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 Tel.23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～16:00

○揖斐幼稚園の開放日

2月1日(水)
直接幼稚園へ申込みください。
Tel.22-6008 (当日可)

2月の活動予定

行事の申込みは、前月第3水曜日より実施日前日まで受付けています。(電話予約不可)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 おさんぽ会 谷汲 鬼見学	3 アップルキッズ	4
5	6	7	8	9	10 アップルキッズ	11 建国記念の日
12	13	14	15 ひよこ交流	16 アップルキッズ	17	18 開館日
19	20 さくらんぼ交流	21 いちご交流	22 りんご交流	23 天皇誕生日	24 アップルキッズ	25
26	27 お話ルーム 誕生会	28				

◎育児相談は毎日、子育て支援センターで直接受け付けています。

◎コロナ感染状況によっては、行事など中止になることがありますので、事前にお問い合わせください。

子育て支援センターは、子どもに関する(0～18歳未満)あらゆる相談窓口です。
一人で悩まないで気軽にご相談ください。



また、毎月作品をカレンダーにして作ったものも持ち帰るため、家族の会話の話題にもなっているように大変うれしく思っています。

なかなか戸外遊びができない季節ですが、室内でも自分で考え工夫して遊べる遊びをたくさん提供していきたいと思っています。

かすが幼稚園では、季節に合った制作活動を楽しんでいます。折る、形を合わせる、線に沿って切るなど、年齢によって工程は異なりますが、作品作りをしながら季節や伝統的な行事を知り、形にする楽しさや達成感を味わえるようにしています。

年長児はイメージしたことを表現できるように、絵の具や画用紙、色紙、木の実など、様々な素材を自分で選んでいます。「ここにバス描いて(紙で作った)僕を乗せるんだ」「この部分はこの紙で作ろうかな」「〇月に咲く花は何かな?」などと、一生懸命考えながら集中して作り、一枚の紙の上に自分の描いた世界を広げていきます。何度も経験を重ね、時には絵本や図鑑からヒントをもらいコツを掴むと、どんどん意欲的になり次回の制作活動を楽しみにするようになります。出来上がった作品を保育士や友達に紹介するときの表情は自信に満ち溢れています。今は切り紙遊びが盛り上がり、切り方を工夫し広げるときドキドキ感を味わい、何枚も夢中になって楽しんでいきます。

考えたものが形になるのがおもしろい

かすが幼稚園キッズコーナー

かすが幼稚園

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。 ～子育て支援センターの紹介～

みんな いっしょに 誕生会！

～いっぱいのおたんじょうび おめでとう がうれしいよ～

支援センターでは、毎月、誕生会を行っています。誕生日のお友達に「名前はなんていうのかな？」「いくつになったのかな？」「好きな食べ物はなんですか？」などインタビューをしながら紹介し、利用者の皆さんの参加もあり賑やかな会になっています。主役の子ども達はみんなの前に出て一生懸命話そうとしたり恥ずかしくてママの後ろに隠れたり、元気に大きい声で名前を話すなど、それぞれの姿がとても可愛く周りのみんなのことを笑顔にしてくれます。誕生会を通して子ども達が一つ大きくなった喜びを感じ、楽しい思い出の一つになってくれたらいいなと思っています。



子育てちゃんねる

ふれる なぞる つかむ ～指先から広がる世界～

生まれた時にギュッと握りしめていた小さな手は、だんだん開き、つかんだりつまんだりできるようになって、手を使えば使うほど器用になり、できることが増えて世界が大きく広がっていきます。
※年齢別援助のポイント



0歳児・・・できる動きをたっぷり！

手に持った物を手放せるようになったら、ボールなどのやりとり遊びを始めてみましょう。持つ・投げる・転がす・渡すなど、月齢が上がるごとにできることが増えていきます。（子どもが握れるサイズ、口に入れてもOKな物や拭いたり洗ったりできるポリエチレン素材の物を！）

離乳食が進み、固形物が食べられるようになってくると、手づかみで食べるようになります。食べ物に触り、つかみ、口に運ぶ動作は感覚機能や運動機能を高め、脳に刺激を送ります。思う存分「手づかみ」食べをさせてあげましょう。

1歳児・・・「自分でする」の思いを大切に！

スプーンやフォークを使い、すくったり刺したりして食べられるようになるので、見本を見せながら、子どもがやろうとする思いを大切にあげましょう。最初は上から、次第に下から握れるようになり、徐々に鉛筆を持つ形になっていきます。衣服の着脱では、まずは脱ぐことができるようになり、次に靴下やズボンをしっかりつかんで引っ張ります。さりげなく援助するなどゆったり見守ってあげましょう。

2歳児・・・できたら認めて達成感を！

Tシャツをかぶって首や両腕を出す、ズボンに片方ずつ足を入れるなど、子どもにとっては大仕事です。できたらその都度認めてあげましょう。片手でスプーン、反対の手で茶碗などを持って食べられるということは、手の協応動作ができるようになった証拠。口に運べているなら、こぼしても気にせず楽しく食べる雰囲気大切にしましょう。

便利な道具はたくさんありますが、手先を使うことを見直し、子どもが手指を動かす機会を意識して増やしてあげることが大切にしてあげたいですね。